

会 議 録

会議の名称		第 5 回 近鉄郡山駅周辺地区整備検討委員会
開催日時		令和 6 年 1 1 月 7 日（木） 1 0 時～ 1 1 時
開催場所		大和郡山市役所 4 階 大会議室
事務局		大和郡山市 都市建設部 まちづくり戦略課 まちづくり協定推進室
出席者	委 員	【学識経験者】近畿大学 ※会長 大阪公立大学大学院 【地元関係団体】大和郡山市自治連合会 ※副会長 大和郡山市商工会 郡山柳町商店街協同組合 大和郡山市観光協会 郡山女性ネットワーク 【議会】大和郡山市議会 【関係事業者】近畿日本鉄道株式会社 奈良交通株式会社 大和郡山市社会福祉協議会 株式会社日本アシスト 奈良信用金庫 【行政機関】奈良県まちづくり推進局まちづくり推進課 奈良県郡山土木事務所 奈良県郡山警察署 大和郡山市総務部 大和郡山市産業振興部 大和郡山市都市建設部
	事務局	まちづくり戦略課 まちづくり協定推進室
欠席委員		大和郡山市商工会 大和郡山市都市建設部
議 事		1. 近鉄郡山駅周辺地区整備事業について ① 近鉄郡山駅周辺地区の都市計画決定の進捗状況について ② 東側駅前広場の進捗状況(デザイン検討)について ③ (仮称)近鉄郡山駅前子育て世代活動支援センターについて 2. その他

2 議事

1. 近鉄郡山駅周辺地区整備事業について

- ・事務局からの説明（資料）

会長）

①都市計画について、②駅前広場について、③子育て支援センターの内容について紹介をいただいた。この3つに限らず、周辺整備全般でご質問・ご意見お出しいただければと思うが、ご質問・ご意見いかがか。内容が見えてきた部分が増えてきたので、それに関するご質問・ご意見でも問題ない。

行政機関）

6 ページのデザインプランについて、前回から少し変更になったということで、近鉄郡山駅への送り迎えに来た人が、現在、時間帯によってかなり渋滞している。その人たちが車を寄せても、それをロータリーで追い越すことができるように、周辺の道路に送り迎えに来た人が溢れないようにお願いしたい。

身障者乗降場の位置が変わってから、サイズ感も小さくなっているのかなと思う。一般ロータリー北側の止めるところも無くなっているので、配慮いただきたいと思う。

会長）

どちらかというと広場の活動部分で変更があったが、再度交通路線等でチェックをしていただき、前より良いものにしていただきたいと思うので、よろしくお願いします。

他いかがか。

では、私の方から一点。9 ページの子育て支援センターについて、遊び場が大半となっているが、ここに書かれている静の遊び・動の遊び・乳幼児のエリアというのは、基本的に全てのエリアが有料となる予定なのか。

事務局）

運用については、子育て部局が担当になっている。

協議の中では有料での運用を想定していると聞いている。

会長）

なぜそれを危惧したかということ、去年の11月に大阪府茨木市で、文化・子育て複合施設「おにクル」がオープンしたからである。「おにクル」は、有料部分の遊び場と無料部分の遊び場の両方を持っている。そういう意味では少し有料の範囲が大きすぎるように感じる。事業者にとっては有料部分の遊び場が大きい方がお金を稼げるので良いのだろうと思うが、市民にとってはもう少し無料部分の遊び場があっても良いのかなと思う。

大和郡山市では遊具メーカーが採用されたので「遊び場」ということにはなるが、一方で、「おにクル」は図書館が入っているので、絵本があったり、絵本の読み聞かせスペースがあったりしている。単に遊びだけでなく、本に触れる機会があるスペースをつくるなど、内容的に色んな内容が入っている方が子育てには良いのではないかと思います。そのあたりを子育て部局と打ち合わせしていただければというように考える。

他いかがか。

関係事業者)

今言っていたいた9ページの内容について、「読書コーナー」・「読み聞かせコーナー」のような、こういった具体的な提案はなかったように思う。そこで、静の遊び・動の遊びのエリアをちゃんと分けていただき、静の遊びエリアをそういう面で生かせたらなと、私もそんな風に同感で思った。そうすると、やっぱりそれが有料になるというのは入りにくいということにもつながってくると思うので、その辺を上手く活用できるようにお願いしたい。

それから当初、エレベーターの件について、朝日町の方から交通の便、通り、それから高齢化が進んでいるということで公述が出ていた。それに対する市の考え方としては、新設する近鉄郡山駅歩行者専用道の東側に設けるエスカレーター付階段やエレベーターを南端へ配置するなどということによって南端整備に入っていると思うが、その辺の朝日町からのご理解をいただけているのか、ということについて、二点伺いたい。

会長)

事務局いかがか。特に二点目の朝日町のご意見は反映していただいているかというところだが、事務局としての担当範囲でもある。

事務局)

まず9ページの子育てエリアの部分について回答する。

先ほどこら言っていたような、「有料なのか・無料なのか」、「どんな遊具・どんな絵本・どんなテーマ・どんなものを置くのか」というのは、今後子育て部局で再度プロポーザルなのか、どういう形の業者選定になるかはわかりかねるが、そちらで検討して決めていただくという方向で進めさせていただく。

あくまでも今回やらせていただいた我々都市部局側の整理としては、「間取り・給排水設備の位置・エリア分け」についてである。単純に箱を作ってしまったから、どういうレイアウトが最適なのかを決めるのではなく、先にこういったものを決めてから、建物の間取り・区画・設備の位置などを検討し手戻りがないようにするためにやらせていただいた。

本日いただいたご意見については、子育て部局にも共有させていただき、それをもとに子育て部局側でどういうものが必要なのか、ということも考えていきたいと思っている。

事務局)

続いて、朝日町のご意見について回答する。

公述人からいただいたご意見については、エレベーター・エスカレーターを南端に配置するなどということで、直接的に6ページのデザイン案をお示ししたわけではないが、市の方針としては、出来るだけ利便性が取れるような形で配慮していくということを伝えて、了承をいただいているので、それについてのご意見というのは特にいただいていない。

事務局)

一点補足。6ページに書いているエレベーターの位置について、この絵を見ると、デッキの真ん中ぐらいに配置されているように見えるが、これは駅の1層目であり、実際に駅にアクセスするのは2層目である。

現在デッキを縮小するという事で検討を進めていると申し上げたところだが、2層目のデッキをかなり縮小する形で検討しており、その縮小された上層部分の南端にエレベーターを配置するという案になっている。

なぜデッキを縮小するかというと、やはり整備費用でかなりの部分がデッキ整備に関わってくるということで、我々としては出来るだけインシャルコストを削減したいという思いがあるからである。また、これまでの委員会の中でも、近鉄様からいただいた「デッキに上がった方も雨に濡れずに駅舎に入っていくような形にしてもらえたら」というご意見も踏まえ、このデッキの縮小で削減した事業費をもって、例えば、この階段やエスカレーター部分に屋根をつけたり、また、2層目のデッキに上がってから駅舎に入っていくところに屋根をつけたりということで、そちらの方にまず資源を割り振っていければと考えている。

会長)

他いかがか。

学識経験者)

広場の図面やデザイン検討について申し上げたいと思う。

前回申し上げたことの続きで言うと、おそらく滞留空間については歩行者利便増進道路制度を活用されるのではないかと思います。先行例で言うと、京阪の樟葉駅前で今ちょうど芝生広場ができています。今はまだ事業者募集中の状態ですが、空間としてはできていて、利活用は社会実験という形で進んでいるので、そこを少し参考にされても良いと思う。

それからよくある話で言うと、占用料の話がかかってくる。「ほこみち」では通常の占用料より9割減免ということになる。9割減免ではあるが、おそらく駅前なのでかなりの占用料が見込まれるかなという気もしている。実は占用条例はこういうテンポラリーな利用を想定していない。要は鉄道であつたり、ガス管であつたり、常時占用を前提にしているケースが多い。そうすると、1日のうちの何時間しか使わない・週末しか使わないという時に、

通常の占用料算定の仕方だと少しなじまないことがある。つまり、ここを借りようとする人にかかなりの負担がいくってしまうので、そこはこの際もっと利活用していただけるように占用料のあり方というのをも合わせて検討されると良いと思う。例えば、大阪のなんば広場とかだともすごい占用料になってしまう。やはり占用条例の仕組み自体が少しなじまない気もしているので、是非そのあたりを検討していただけると良くなるかなと思う。

利活用についても、今の空間でやるというのはなかなか難しいし、工事入ってしまうと使えなくなってしまうが、可能であれば社会実験みたいなことを行う形でやっていくというのが望ましいかなと思う。

次に、6ページについて、是非この図面上に使い方のパターンみたいなものを想定していただいたらよいと思っており、春夏秋冬、それから朝昼夜ぐらいで考えていくと、広場をこんな風に使うというバリエーションがどんどん出来てくるかなと思っている。

それから少し気になったのが、これはまだ未決定ということなのかもしれないが、4ページの右上の写真と6ページの図面を見比べると、ちょうどこの4ページの模型の写真をしていると、バスロータリーのアイランドのところに緑の山みたいなものがあり、私は矢田町通から入ってきた時には、非常にアイコンや目印になると考えている。要は、駅前のシンボル感がかかなり出てきて、景観的にはとても意味があるのかなと思っている。ただ一方で、これはバス事業者さんが非常に嫌がるケースでもある。もちろん交通事業者さんのご意向もあると思うが、景観的には非常に意識してきていると思うので、是非こういうものがあるといいのかなと思う。6ページでは消えてしまっているなので、可能ならあった方がいいかなと思う。

それからこれもよくある話だが、後から時計を置きたいとか、大和郡山市の場合は金魚の何か大きなものとか、それからあとは標語みたいなものとか、後からどんどんどんついてきたりする。私の個人的な気持ちで言うと、そういうものを後から足していくというのは良くないと思っていて、あまりゴミゴミするのが良くないと思っているので、後から色んなものを足さないように考えていただきたい。

また、サインも合わせて一緒にご検討されるといいかなと思っていて、どこに表示サインを出すかなど、それから照明ポールのような登場人物が増えていくのであれば、少し簡単なデザインガイドラインのようなもの作っておくと良いかと思う。例えば、照明の色温度とかを決めておくなどをしておくとか広場の一体性というのがより高まると思っている。

最後に、アイランドの話と関係するが、照明を高いポールか、低いポールか、のどちらで設置するかがよく議論になっている。ロータリーの中に高いポールを設置すると、少ない数のポールでやれるので広場の中が自由に使いやすくなるが、これも交通事業者さんは嫌がられるというか、車両などへの衝突を懸念される。そのあたりバランスだと思うが、出来るだけ利活用しやすいという意味では、低い照明のポールがたくさん出てくるよりは極力ポール数を少なくしていく方が利活用しやすいかなと思う。

会長)

ありがとうございました。

まず、占用料の話で言うと運用についても工夫が出来るのかなと思う。例えば、JR 茨木駅の東側にある「スカイパレット」というデッキでも広場的な部分を作っているが、たまに商工会議所が借り上げて、そこにチャレンジショップを数ヶ月置いていただくようなことを行っている。市が借り上げてマルシェなんかを行うというようなやり方もある。そういう意味では「誰がお金払うのか」という話は、色んな運用の工夫で出来る部分もあるのではないかなと思うので、そこも追加で工夫が出来る部分は工夫していただきたいと思っている。

次に、「後から色んなものを置かれたら困るよ」という話があったが、いわゆるチープなものというのが置かれるというのが少し問題だろうと思っている。先ほど例として挙げた茨木市の「おにクル」の事例では、京都芸術大学と市がすでに協定を結んでいたもので、京都芸大の先生の作品がいくつか置かれている。茨木出身のヤノベケンジさんという非常に有名な現代アーティストの方もおられ、「おにクル」の中にも「シップス・キャット (SHIP'S CAT)」という作品を置いて下さっている。10年ほど前にはなるが、南茨木駅の前にも「サン・チャイルド (Sun Child)」という6メートルほどの作品を置いて下さった。当然作品料はかかってくるが、このようなちゃんとした芸術作品が置かれるというのも、それはそれで良いのかなと思う。またそのあたりも事務局の方でご検討いただければと思う。

学識経験者)

追加で1つ申し上げる。

富山県富山市の「グランドプラザ」の中で行われている広場でお酒が飲めるイベントなどは60分で終わりにしている。なぜかというとお酒が飲めるイベントを2時間以上行ってしまうと、みんな酔っ払って帰ってしまうからである。つまり、商店街にお客さんが流れなくなり広場が儲かることで、商店街周辺の店舗のお客さんを奪うこととなるため、周辺の店舗が広場を歓迎しなくなる。

例えば、「同じ業種の出店はしない」、「商店街の店舗さまへの出店を優先的にお声がけする」などの細かい流儀を作っておくことで、商店街周辺の店舗が広場に嫌悪感を抱くということがないように、まち全体が盛り上がる戦略でお願いをしたい。

事務局)

ありがとうございます。5点ほどいただいたが・・・。

まず、道路使用料について、また道路部局の管理課も含め、どういったやり方が一番良いのかというのも検討していきたいと思っている。

次に、近鉄郡山駅のバスロータリーのサインについて、先ほどのご指摘の通りで、元々は計画に入っていたが、「待機場に色々置かれたら困る」とのご意見をいただき、今はこのデザインプランの中からは消している。また、近鉄郡山駅のバスロータリーについて、昔は観

光バスも入っており、長距離バス等々の発着場になっていたりもしていた。現在バスロータリーの中に置くバスは3台を想定しているが、実は、城ホール南側のバスパークというところで、朝いつも奈良交通のバスが停車している状況もあり、それらを吸収していけたらということも含めて検討している。

次に、社会実験に関して、現在すでにデザインプラン支援業務を受けて下さっている事業者さんと協議をしている。予算が付けば、当然来年度も引き続いて事業者さんと社会実験も含めた取り組みを進めていきたい。

また、最後に言っていた「駅前広場の中であまり賑わせると周辺の・・・」という部分に関しても、現在まちづくり戦略課の方で毎月1回「大和是好日」というマーケットを外堀緑地公園にて行っており、基本的に「大和是好日」は、市内の事業者を中心にやらせていただいている状況なので、そういった今までの取り組みも活かす形で駅前広場に有効活用していきたいと考えている。

会長)

ありがとうございます。

商店街との連携の話について、観光案内所もできるので、周辺の施設サインを上手く使っていただき、商店街の店舗の紹介・誘導をするなど、広場だけが賑わうのではなく、周辺の賑わいが増すようなことが上手くできればと思う。

他いかがか。

いくつかご意見を賜りましたし、また後ほど思いついたら、随時また事務局にお届けいただければ、まだ修正の効く部分というのは多くありますので、気づいた段階でまた事務局にご連絡をいただければと思います。

それでは続きましてその他でございますが、まず委員の皆様からその他の方ありますでしょうか。ないようでしたら、事務局からその他の方よろしくをお願いします。

2. 次回会議

- ・第6回の委員会の開催は、2月18日(火)14時を予定

正式な開催案内は後日書面にてご案内

- ・次回委員会までに事務局と各関係者で個別協議を行い、意見の集約・整理を行う